

第183回拡大地方委員会②

3月4日（土）10時～ 県教育会館

国労

蘇我運輸区分会ニュース

職場報告（文書発言）

蘇我運輸区分会・飯高聡明
（前段あいさつ、他一部割愛）

この間の取り組みについて2点報告します。

1つ目はダイヤ改正に対する取り組みについてです。分会では、これまでの交渉で積み上げてきた組合に有利な交渉内容を生かし、ダイヤ改正に対する要求作りを進め、2月に交渉を行ってきました。

蘇我運輸区ではここ数年、慢性的な要員不足が続いており、乗務員からは「月の休みが5日しかない」「年休が入らないため流してしまう」といった不満の声が出されています。昨年12月の勤務作成時には、車掌の所定行路を埋めるために70日以上の日勤勤務を手配しなければならない状況になりました。突発で休む人が出ると勤務手配がつかず、定期行路を欠員とする異常な対応が繰り返し行なわれています。交渉では、交番を回すために必要な要員数を明らかにすること、それに見合った要員を確保する事を強く求めてきました。千葉支社は「人数については会社の経営判断事項である」として数を明らかにしませんでした。場当たりの対応で後手に回ったことを認めました。会社に対し、年間の休日と年休が消化出来るだけの要員の配置を求めていき、引き続き実態調査に取り組んでいきます。

今回の申し入れでは、乗務員の切実な要求である「食う・寝る・トイレ」を基本とした4項目の行路修正を申し入れ、3項目の修正が実現しました。

2つ目は、過半数代表選挙についてです。

この間の経過については分会ニュースに掲載しているところですが、昨年同様、事前に他労組分会代表者らと意見交換を行い、候補者を1本化、支持の呼びかけに取り組んできました。立候補は他労組分会長と社友会の副長の2名で、結果は後者が過半数を獲得し、6回目にして初めて労組以外の代表者となりました。結果を受けて当該労組の分析は、会社の戦略による組合員の転勤で組織的に不安定となり、未加入者への影響力が弱まったとしています。

分会は執行委員会を開催し、その中で積極的な行動が出来なかったのではないかと。普段からの人間関係の構築が重要であること、社員代表の役割や選挙の重要性が社員に共有されていない事などの総括を行いました。また、今後の取り組みとして36協定や休日出勤に関する理解を深め、社員代表者や安全衛生委員に対して働きやすい職場に向けての問題を提起するなど積極的に関わりを持ち、国労の存在意義を発揮していこうと議論を進めています。

質疑・応答（討論）

発言順に・・・

- ① 佐倉（日向駅）
- ② 千葉運輸区（同車掌）
- ③ 新小岩保（東鉄工業）
- ④ 木更津（長浦駅）
- ⑤ 津田沼（東船橋駅）
- ⑥ 幕張車輛セ（信号所）
- ⑦ 千葉建築（東鉄工業）
- ⑧ 千葉電気（ ）

・・・以上、分会名とカ
ッコ内は職場名です。

他、文書発言として蘇
我運輸区が原稿を提
出し参加しました。

（左別枠にはほぼ全文掲載）
千葉運輸区（東平さん）

こうした場では最後
の発言になると思う。

まず、職場に労働運動

を残す取り組みについ
ては、そういう雰囲気か
感じられない。職場内
では様々な委員会活動が
行なわれる中、とても春
闘を闘う雰囲気ではな
い。（インバースイオンスタ
ツ等の兼務が増え）乗務し
ながら旅行プランなど
の色々な企画や販売に

関わるような業務で、乗
務に集中出来ていないの
が不安。臨時列車の通達
の不備や他の情報に関
しても乗務員が知らない
ことが多い・・・とい
うか、関心がない、誰も不
思議と思わない実態。他
の仕事が大事で自分本
来の仕事（乗務）に興味
がいてない証拠。労働
組合を強化していか
なければ、会社内のこうし
た状況も改善出来ない。
改憲問題に関しては、

このままでは年内に改憲
が現実となってしまう
状況。国労内でこうした
議論が少ないのが残念。
護憲に関する集会も各
地で開催されており、国
労もそこに積極的に参
加すべき。統一地方選は
その意味でも重要だ。



☆ 東平さん最後？の発言。いつも通り強烈なインパクトで締めくくってくれました。感謝しかありません！！